

2026年 8 月期 通期決算説明資料

2026年10月15日

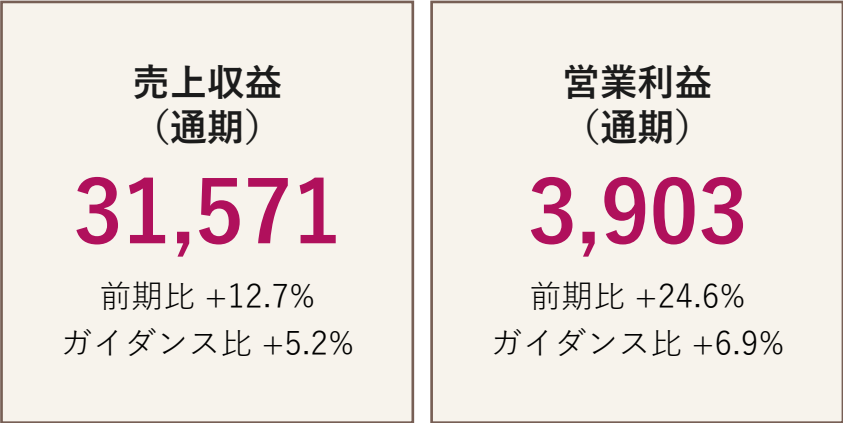


プリモグローバルホールディングス株式会社
(367A 東証スタンダード市場)

(単位：百万円)

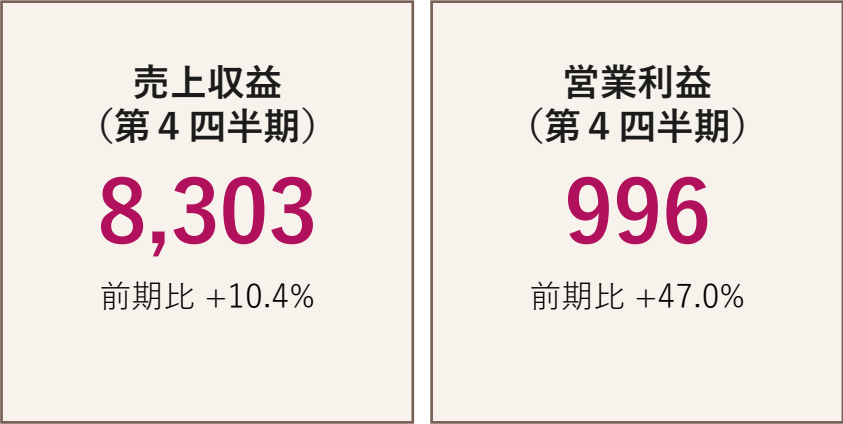
- 1
- 通期業績は売上収益・営業利益・当期利益いずれも過去最高
現中期経営計画（25.8期~27.8期）の経営目標を1年前倒しで達成

 - ✓ 売上収益：31,571百万円（前期比+12.7%・ガイダンス比+5.2%）
営業利益：3,903百万円（前期比+24.6%・ガイダンス比+6.9%）
当期利益：2,395百万円（前期比+34.1%・ガイダンス比+10.4%）
 - ✓ 国内は客単価の上昇と客数の堅調な推移により成長、海外は中国本土が成長牽引



- 2
- 第4四半期は商品価格の見直し・原価改善施策の効果発現により、
貴金属価格高騰で低下した売上総利益率・営業利益率が回復

 - ✓ 売上収益：8,303百万円（前期比+10.4%）
営業利益：996百万円（前期比+47.0%）
 - ✓ 第3四半期まで低下していた売上総利益率が第4四半期では回復に転じた
（第3四半期比+4.6pt）



- 3
- 2027年8月期は新中期経営計画の初年度
さらなる成長に向けて新たなステージへ

 - ✓ 売上収益：34,800百万円（前期比+10.2%）
営業利益：4,800百万円（前期比+23.0%）

※ 新中期経営計画の詳細は、別途公表の中期経営計画資料をご参照ください。
※ 当社株式は、2026年10月30日から開始するTOPIX Next-tier の構成銘柄に選定されました。



目次

INDEX

- 01 業績ハイライト（連結）
- 02 セグメント別業績（国内／海外）
- 03 財務情報
- 04 今後の見通し
- 05 Appendix



01

業績ハイライト（連結）



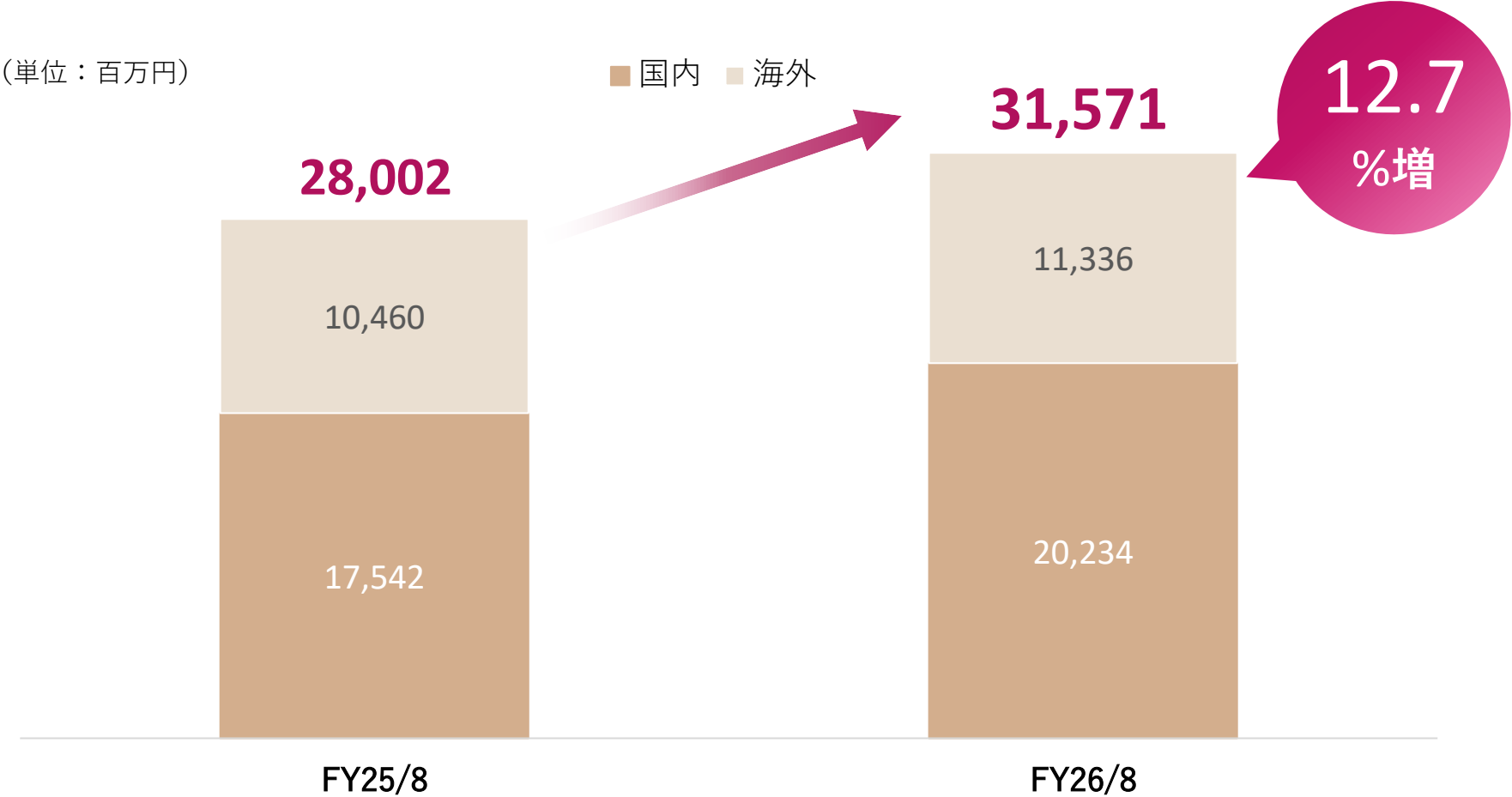
- 通期業績は、売上収益・営業利益・事業利益いずれも過去最高を更新

(単位：百万円)	通期		
	FY25/8 実績	FY26/8 実績	前期比
売上収益	28,002百万円	31,571百万円	+12.7%
営業利益	3,132百万円	3,903百万円	+24.6%
事業利益 ^{*1}	3,321百万円	3,861百万円	+16.3%
事業利益率	11.9%	12.2%	+0.3p

^{*1}：事業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販管費及び一般管理費

売上収益：2026年 8 月期

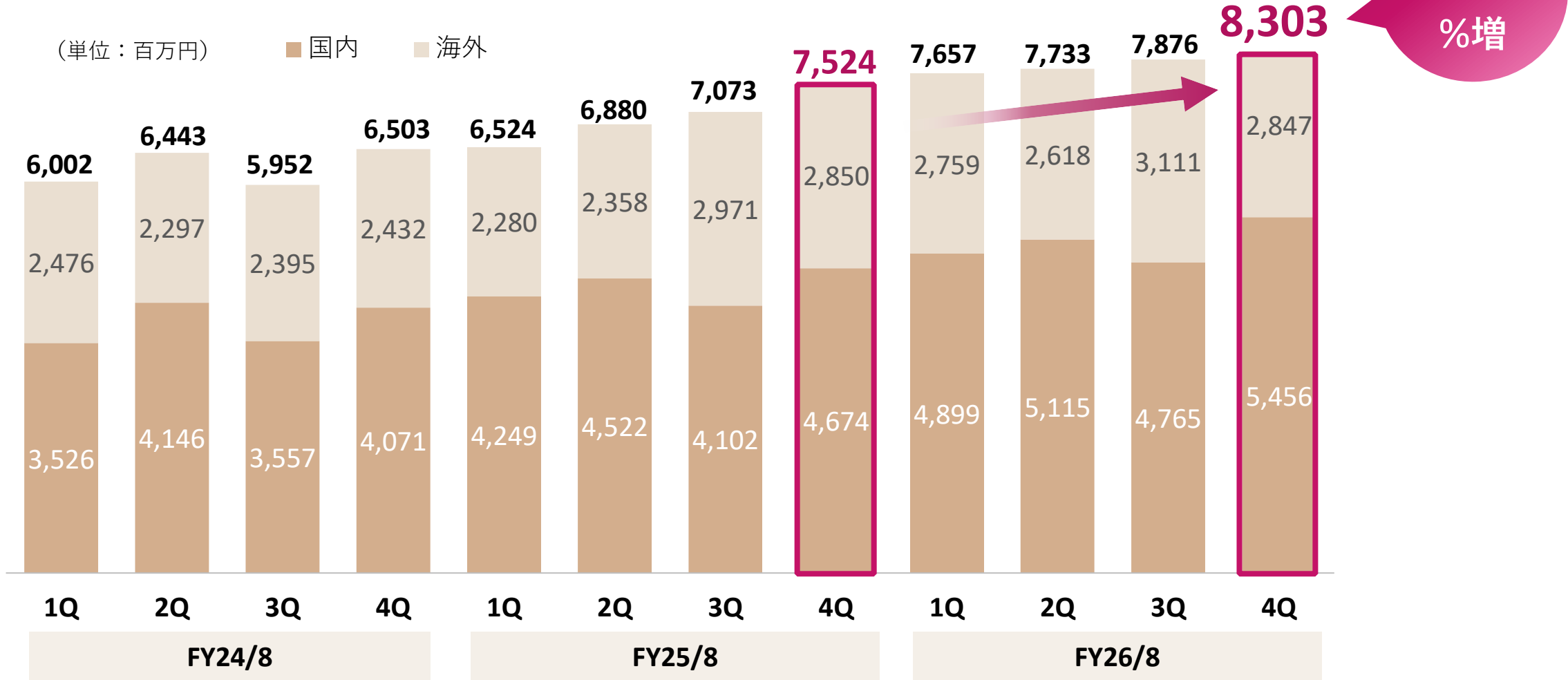
- 通期の全社売上収益は前期比12.7%増収。国内事業は同15.3%増収、海外事業は同8.4%増収
- 国内事業は客数・客単価ともに前期比で増加、海外事業は中国本土が前期比で大きく増収



*連結調整額は国内事業に含めております。

売上収益：全社四半期推移

- 第4四半期（6～8月）の全社売上収益は前期比10.4%増収
- 海外事業は、中国本土の成長が継続した一方、台湾の婚姻組数減少の影響により前年並みで推移



*連結調整額は国内事業に含めております。

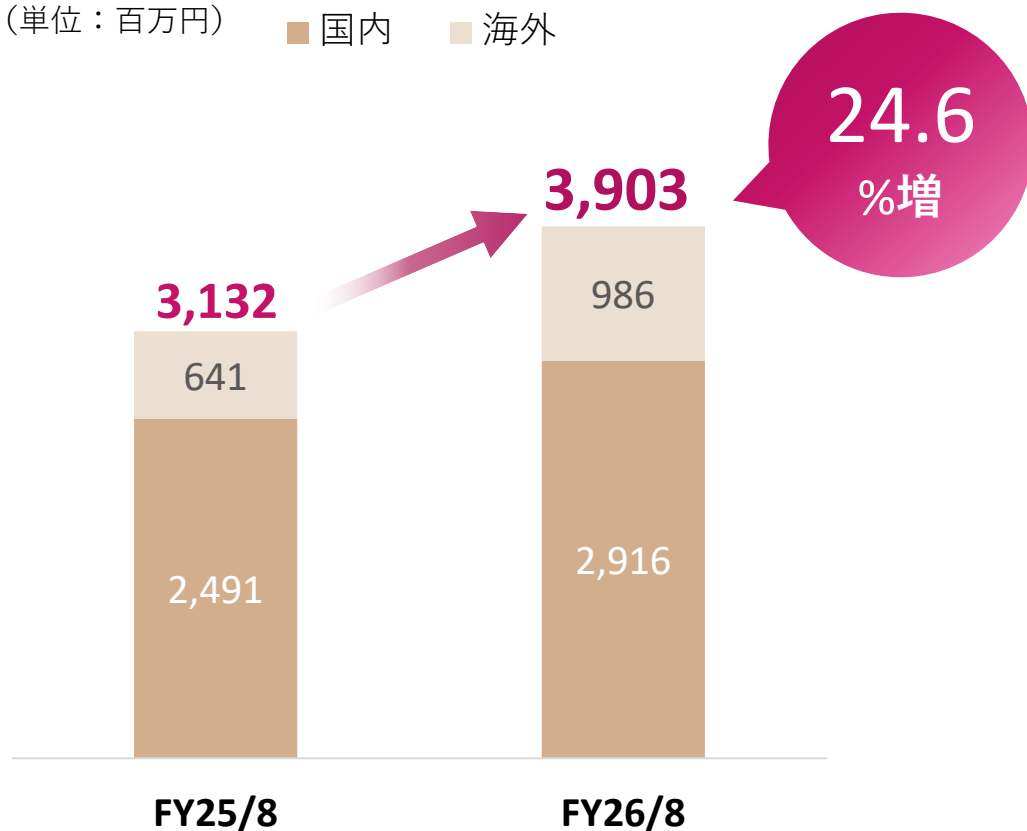
営業利益・事業利益：2026年 8 月期

- 全社営業利益は前期比24.6%増益。国内事業は同17.1%増益、海外事業は同53.9%増益
- 全社事業利益は前期比16.3%増益。国内事業は同15.1%増益、海外事業は同20.4%増益

営業利益

(単位：百万円)

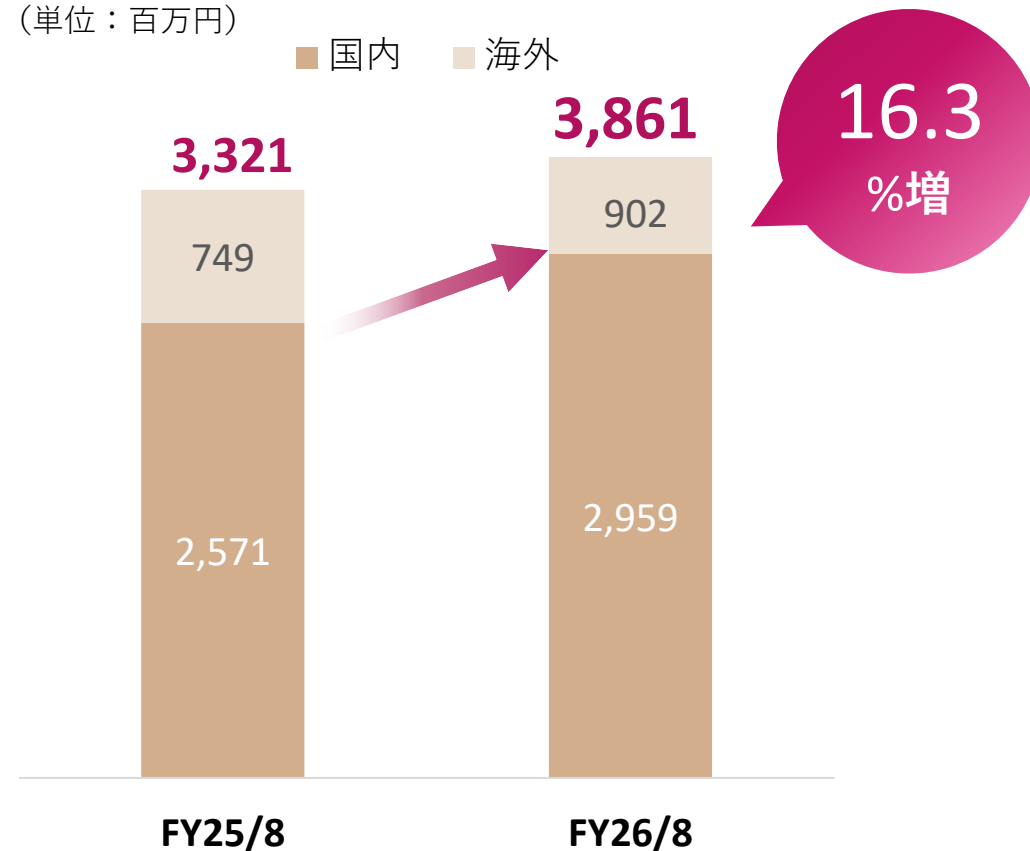
■ 国内 ■ 海外



事業利益

(単位：百万円)

■ 国内 ■ 海外



*連結調整額は国内事業に含めております。

連結損益計算書

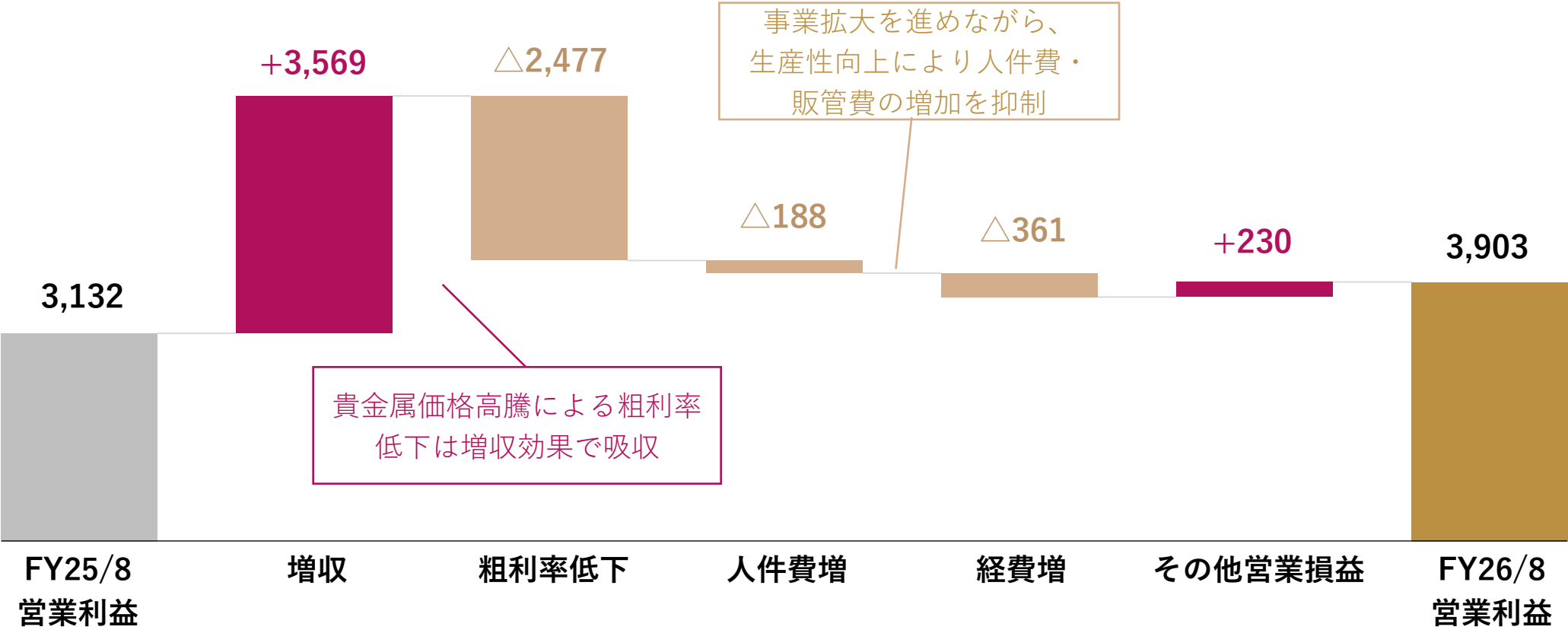
PL（百万円）	第4四半期				通期			
	FY25/8	FY26/8	前期比		FY25/8	FY26/8	前期比	
売上収益	7,524	8,303	+779	+10.4%	28,002	31,571	+3,569	+12.7%
売上原価	2,689	3,144	+454	+16.9%	9,937	12,415	+2,477	+24.9%
売上総利益	4,835	5,159	+324	+6.7%	18,064	19,156	+1,091	+6.0%
売上総利益率	64.3%	62.1%	△2.2p		64.5%	60.7%	△3.8p	
事業利益	934	1,090	156	+16.7%	3,321	3,861	+540	+16.3%
事業利益率	12.4%	13.1%	+0.7p		11.9%	12.2%	+0.3p	
営業利益	678	996	318	+47.0%	3,132	3,903	+770	+24.6%
営業利益率	9.0%	12.0%	+3.0p		11.2%	12.4%	+1.2p	
税引前当期利益	572	855	+283	+49.5%	2,732	3,460	+727	+26.6%
法人所得税費用	428	217	△210	△49.1%	946	1,064	+118	+12.5%
当期利益	143	637	+493	+342.9%	1,786	2,395	+608	+34.1%

*1：事業利益＝売上収益－売上原価－販管費及び一般管理費

- 増収効果が貴金属価格高騰に伴う粗利率低下を上回り、営業利益は + 770 百万円
- 粗利率は、第 3 四半期の 57.5% を底として、第 4 四半期は 62.1% (+4.6pt) と回復に転じた

営業利益増減の要因分解

(単位：百万円)





02

セグメント別業績 (国内／海外)

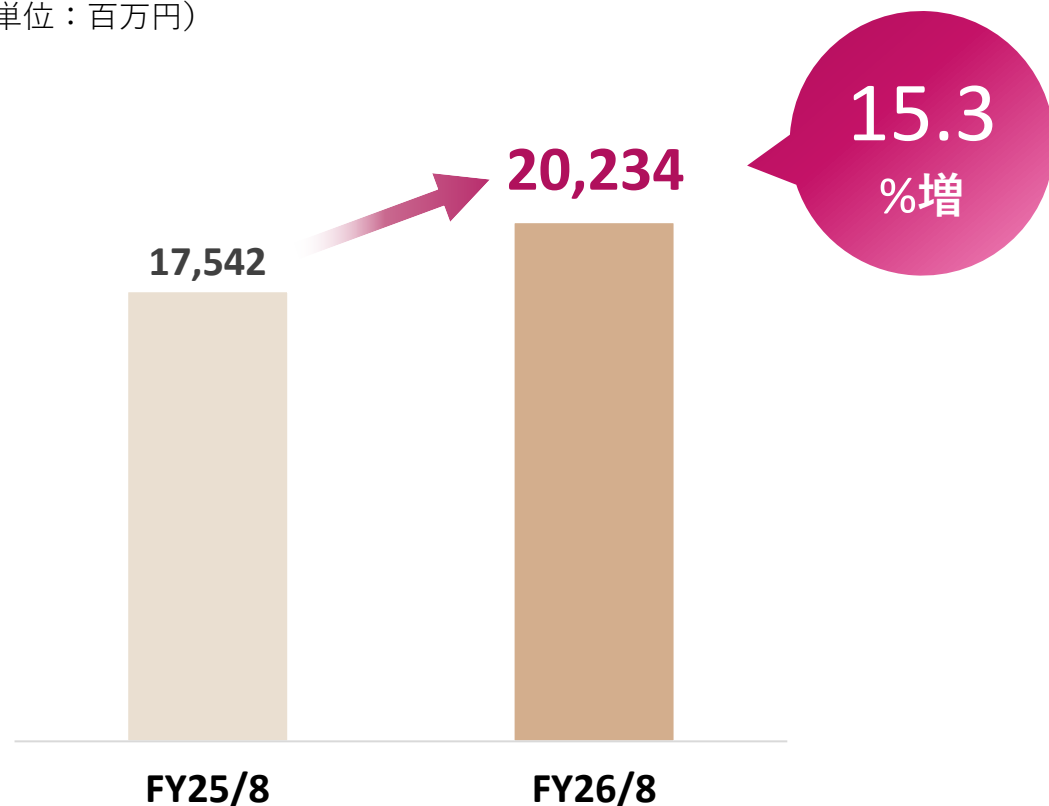


国内 セグメント実績：2026年8月期

- 商品価格の見直しによる客単価の上昇に加え、客数も堅調に推移したことにより、売上収益が伸長
- LAZARE DIAMONDについては、新たな顧客接点の創出により、全店舗において売上収益が過去最高

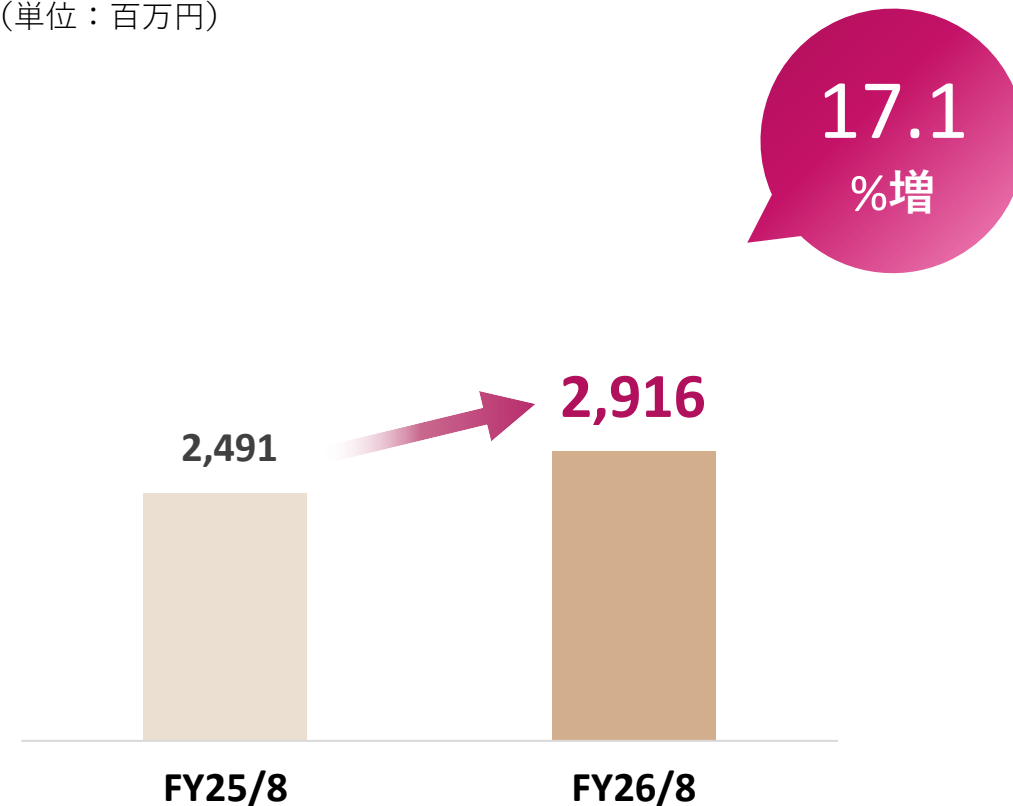
売上収益

(単位：百万円)



セグメント利益

(単位：百万円)

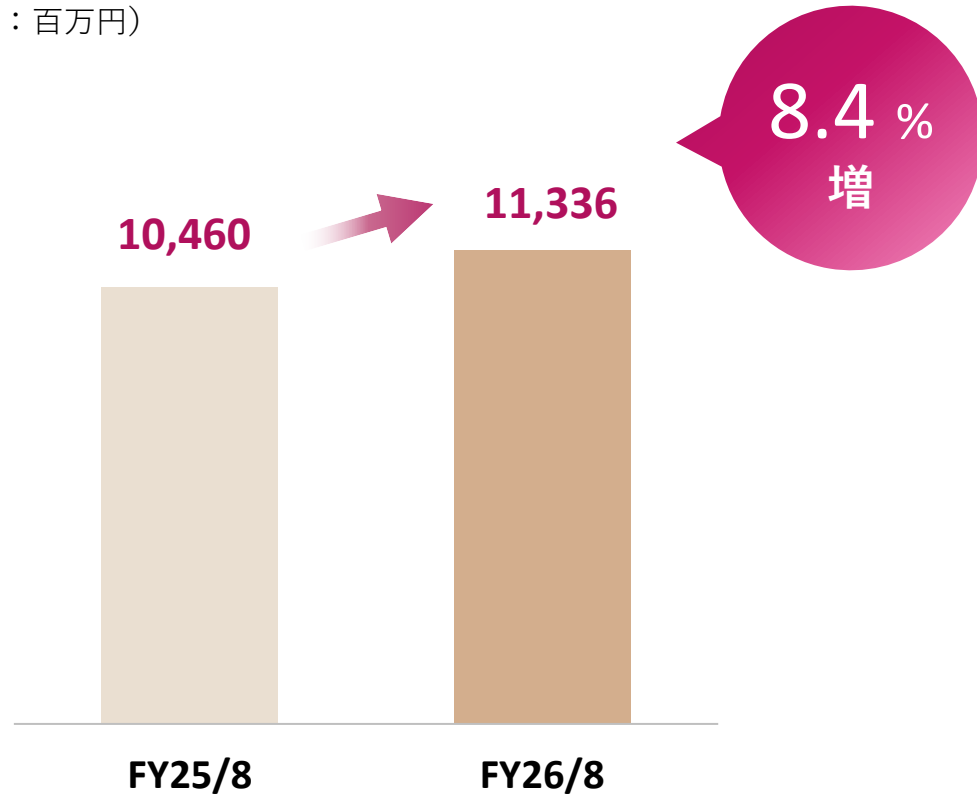


*連結調整額は国内事業に含めております。

- 日本で培った商品品質、接客サービス、店舗運営のノウハウを活用し、ブランド認知および価値を向上
- 中国本土は2期連続の増収増益を達成し、グローバル展開の成長ドライバーとして進展

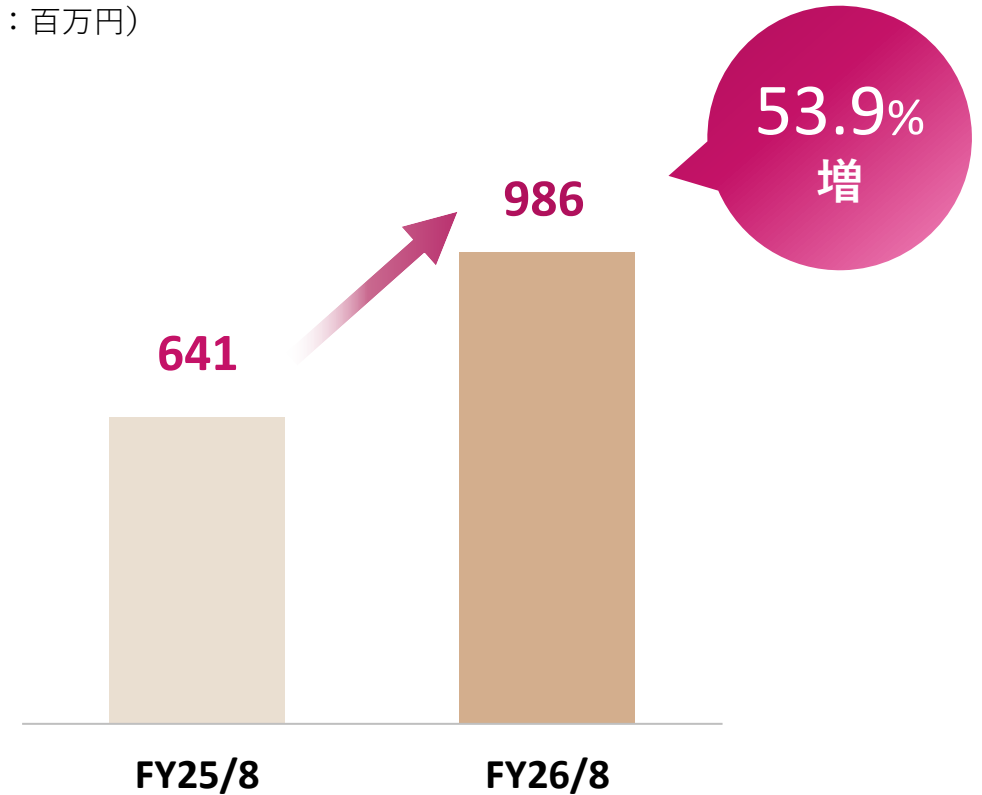
売上収益

(単位：百万円)



セグメント利益

(単位：百万円)



- 中国本土・東南アジアにおける事業拡大へ向け、新規出店を着実に推進
- 中国本土は、2016年7月の上海市への1号店出店から10周年を迎えた

2026年6月 出店（中国本土・深セン市）

「I-PRIMO Shenzhen Bay MixC Store」

中国本土の主要都市である深セン市に3号店目となる「I-PRIMO Shenzhen Bay MixC Store」を出店。
中国本土事業は10年間で、14都市・26店舗に拡大



2026年6月 出店（マレーシア・クアラルンプール）

「I-PRIMO SEIBU The Exchange TRX」

マレーシア・クアラルンプールに1号店となる「I-PRIMO SEIBU The Exchange TRX」を出店。引き続き東南アジア市場での事業基盤の構築を推進





03

財務情報



連結財務ハイライト (BS)

BS (百万円)	FY25/8	FY26/8
流動資産	12,512	13,391
現金等	3,743	4,049
営業債権等	2,087	1,926
棚卸資産	6,630	7,108
その他	50	306
非流動資産	33,437	36,960
有形固定資産	1,354	1,452
のれん	16,491	17,843
無形資産	10,029	11,794
使用権資産	3,322	3,762
繰延税金資産	780	664
その他	1,457	1,443
資産合計	45,949	50,352

BS (百万円)	FY25/8	FY26/8
流動負債	10,007	10,486
営業債務等	1,778	1,678
契約負債	3,602	4,041
借入金	996	1,196
リース負債	1,684	1,809
未払法人所得税等	510	420
その他	1,436	1,339
非流動負債	17,889	18,511
借入金	12,447	12,606
リース負債	2,945	2,914
繰延税金負債	2,282	2,564
その他	213	426
資本合計	18,052	21,354
負債及び資本合計	45,949	50,352

財務ハイライト（CF）

CF（百万円）	FY25/8	FY26/8
営業活動によるCF	4,705	4,749
税引前当期利益	2,732	3,460
減価償却費及び償却費	2,162	2,047
減損損失	248	107
棚卸資産の増減額（△は増加）	△58	△204
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△456	11
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△7	△156
法人所得税の支払額又は還付額（△は支払）	△753	△907
その他	837	390
投資活動によるCF	△222	△1,407
有形固定資産の取得による支出	△160	△221
無形資産の取得による支出	△273	△1,165
その他	212	△20
財務活動によるCF	△4,003	△3,083
長期借入による収入	14,031	1,400
長期借入金の返済による支出	△15,836	△1,156
リース負債の返済による支出	△2,198	△2,128
配当金の支払による支出	-	△1,433
その他	-	235
現金及び現金同等物に係る換算差額	64	47
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	543	305
現金及び現金同等物の期首残高	3,199	3,743
現金及び現金同等物の期末残高	3,743	4,049



04

今後の見通し

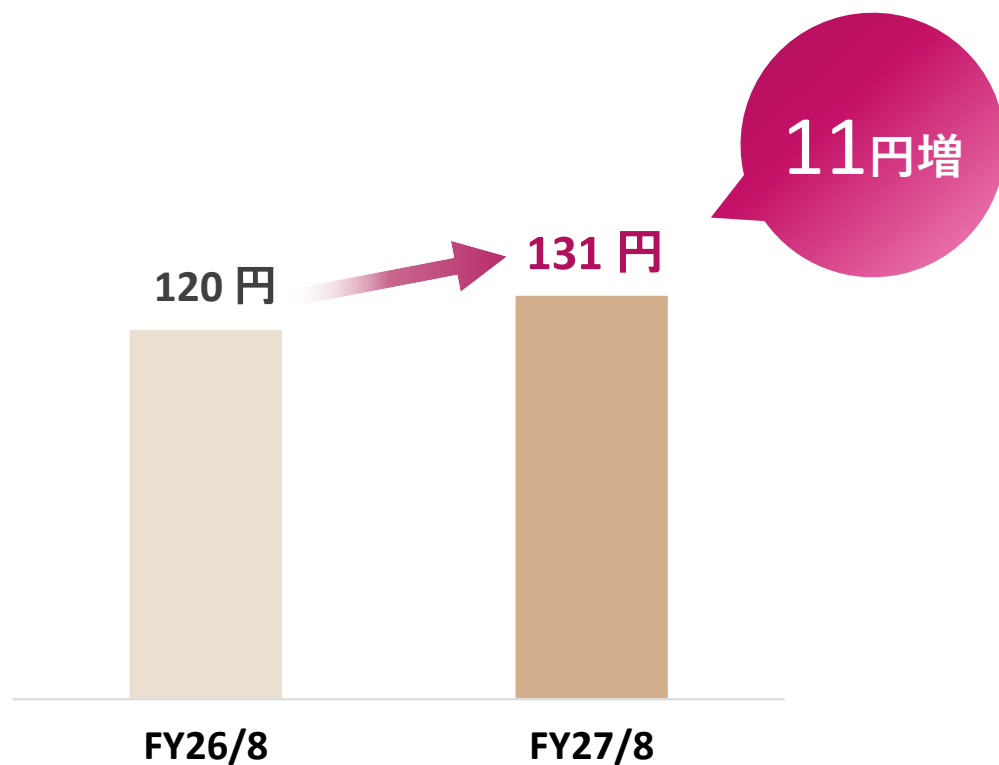


- 新中期経営計画「PRIMO Beyond 2029」の初年度として、売上収益・利益ともに過去最高更新を計画
- 2026年 8 月期に実施した商品価格見直し、LAZAREのダイヤモンド調達権取得による原価改善効果の発現を見込む
- 新規出店は、国内 1 店舗・海外 6 店舗の計 7 店舗を予定し、商品単価向上による粗利率改善施策を継続

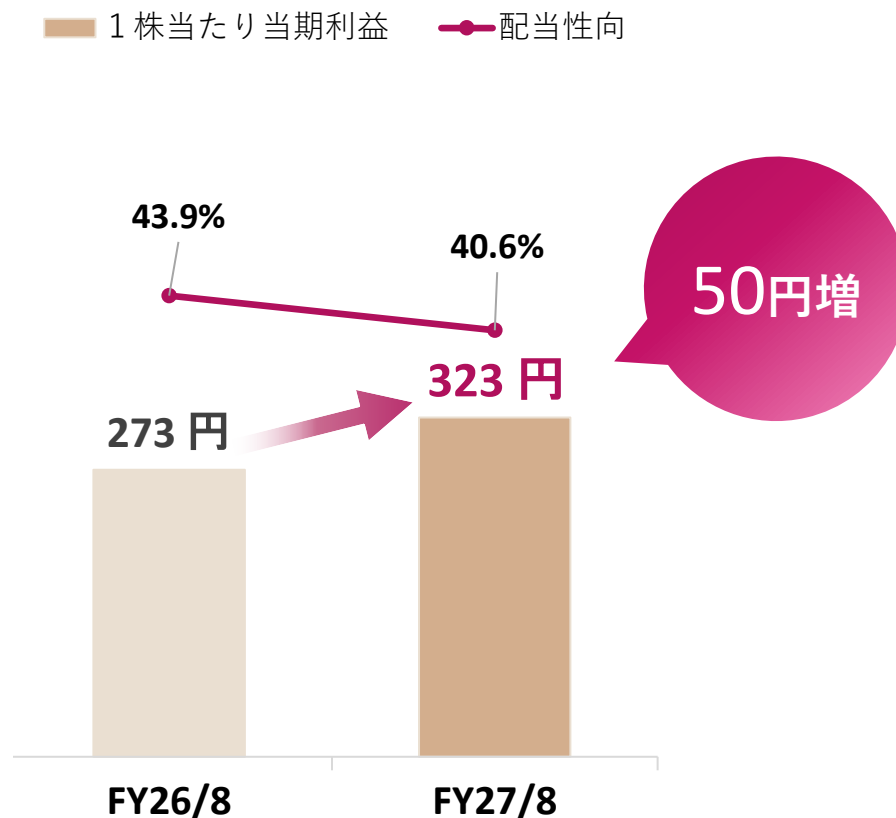
(単位：百万円)	FY26/8 通期実績	FY27/8 通期予想	前期比
売上収益	31,571	34,800	+10.2%
営業利益	3,903	4,800	+23.0%
営業利益率	12.4%	13.8%	
税引前当期利益	3,460	4,300	+24.3%
税引前当期利益率	11.0%	12.4%	
当期利益	2,395	2,900	+21.1%
当期利益率	7.6%	8.3%	

- 2027年8月期は、1株当たり131円（中間65円、期末66円）の配当、前期比で11円の増配を予定
- 今後も、配当性向40%以上を基本方針とし、自己株式取得[※]についても機動的に実施 ※詳細は中期経営計画資料に記載

1株当たり配当



1株当たり当期利益 (EPS)





05

Appendix



- マーケティングによるブランドの強みの浸透により来店客数が増加
- 計測・診断ツールの導入や、店舗における体験価値の進化により、さらなる顧客満足度の向上を推進

アイプリモ THE FIRST STEP

I-PRIMOの「PRIMO」には「最初に」と「最高の」という意味があるため、最初に訪れていただく最高の場所をご提供していることをマーケティングで訴求。ブランドの様々な強みが浸透したことにより、来店客数が増加。



アイプリモ パーソナルハンド診断®

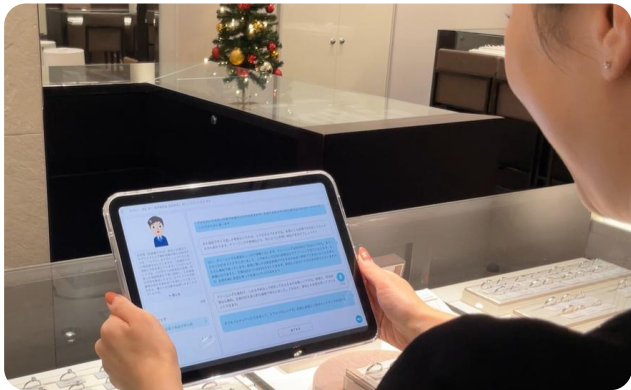
独自開発の計測・診断ツールを全店舗に導入。ジュエリーコーディネーター資格を持つスタッフがお客様にもっとも似合う指輪をご提案。お客様自身も気付かなかった好みをお伝えすることで、高い顧客満足度を獲得。



- AIを活用した育成支援システムを独自開発し、接客スキルを平準化
- 子育てサポート企業として「くるみん認定」を再取得

AIを活用した人財育成

AIを活用した育成支援システムを独自開発し、運用を開始。AIを相手に実践的な接客ロールプレイを行うことで、個人の経験に依存していた接客スキルを平準化。熟練スタッフによる対面教育に加え、スタッフ一人でも効率的に接客力を磨くことが出来る体制を確立。



「くるみん認定」再取得

「くるみん認定」とは、社員の子育て支援に積極的に取り組む「子育てサポート企業」を厚生労働大臣が認定。2025年4月改正の新基準において、継続的な子育て支援および働きやすい環境づくりへの取り組みが改めて評価され、2018年以来2回目となる認定を取得。



- LAZARE DIAMONDは、ポップアップイベントの開催や、ファッションメディア・SNSによりプロモーションを強化
- ダイヤモンド調達権の取得による収益性の改善と、さらなるブランド価値・認知の向上を推進

ダイヤモンド調達権取得

ラザール・キャプラン社より、日本国内における「ラザールダイヤモンド」の運営体制強化のため、商品に使用するダイヤモンドの調達権を取得。第4四半期以降は、調達から販売までの全プロセスにおける意思決定の迅速化と、中間マージンが不要になることでの粗利率の改善が実現。



DIAMOND CAFE 開催

ラザールダイヤモンドのブランド価値・認知向上のため、昨年に引き続き2回目となる表参道でのポップアップイベント「DIAMOND CAFE」を5月に開催。『L'OFFICIEL（ロフィシエル）』とのコラボレーションを通じて、9日間で約700名のお客様がブランドの世界観を体験。



本資料は、プリモグローバルホールディングス株式会社（以下「当社」といいます。）の企業情報等のご案内のみを目的として当社が作成したものであり、日本国、米国又はそれ以外の一切の法域における有価証券の取得勧誘又は売付け勧誘等を構成するものではありません。米国、日本又はそれ以外の一切の法域において、適用法令に基づく登録若しくは届出又はこれらの免除を受けずに、当社の有価証券の募集又は販売を行うことはできません。

本資料に記載されている情報は、現時点の経済、規制、市場等の状況を前提としていますが、その真実性、正確性又は完全性について、当社は何ら表明又は保証するものではありません。本資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、何人も、他の目的で公開又は利用することはできません。本資料には、将来の業績に関する記述（将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みますが、これらに限定されるものではありません）が含まれております。これらの将来に関する記述は、現在入手可能な情報をもとに一定の前提（仮定）の下でなされた当社の経営陣の判断に基づいて記載したものであり、様々なりスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来情報に明示又は黙示されたものとは大幅に異なる場合があります。したがって、これらの将来に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

なお、本資料に記載された情報は本資料の日付（又はそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、それらの情報を変更又は訂正する一切の義務を負いません。

本資料は当社の企業情報等のご案内のみを目的として提供しています。本資料の複製は禁じられており、いかなる方法によっても他者に転送又は再配布してはなりません。本資料を提供するにあたり、当社は、追加情報へのアクセス手段、本資料の情報の更新、本資料に記載されている情報が不正確であることが明らかとなった場合の修正につき、一切責任を負いません。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報及び第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等について、当社は独自の検証は行っておらず、何らその責任を負うことはできません。

■ 本資料に関するお問い合わせ先

プリモグローバルホールディングス株式会社 IR担当 太宰・中村
〒104-0061 東京都中央区銀座 5-12-5 白鶴ビル 4階
Tel：03-6226-6261



プリモグローバルホールディングス株式会社
Primo Global Holdings Co., Ltd.